

水循環勉強会の開催結果等について

1 水循環勉強会の開催概要

2025年度の水循環勉強会は、岩倉市主催の小学生向けイベント「五条川水辺の生きもの調査～目印モンスターを探せ～」及び愛知県が環境省から選定を受けて実施する「水環境健全性モデル調査」との合同で開催しました。

(1) 開催日時

2025年 7月25日（金）

（イベント調査）午前9時から午前11時まで

（生物詳細調査）午後1時から午後3時まで

(2) 開催場所

五条川（岩倉市中本町。千亀橋～豊国橋）



(3) 講師

いであ株式会社 大阪支社 生態・保全部
同 環境技術部

岩倉ナチュラリストクラブ

(4) 参加者

尾張・西三河・東三河地域水循環再生協議会 構成員 9名

<参考>

五条川水辺の生きもの調査～目印モンスターを探せ～（岩倉市）

(<https://www.city.iwakura.aichi.jp/0000006912.html>)

目印モンスターとは、正式名称を「指標生物」といい、川に生息している生き物の種類と数を調べることによって、その川の水がどれくらいきれいなのかを知ることができる生き物のことです。

五条川の底をかき混ぜたり、石をめくったりして、水辺のいきものを捕まえて、その中から目印モンスターを探します。

水循環健全性モデル調査（環境省）

水環境保全に係る活動と地域づくりを一体的に取り組むことにより、水辺の価値の向上と地域の魅力向上を目指し、「水環境健全性指標（みずしるべ）」の活用と水生生物調査により、水質以外の要素による水環境の健全性を評価する調査で、2025年度の実施自治体の1つとして、愛知県が選定されました。

イベント調査「五条川水辺の生きもの調査～目印モンスターを探せ～」を水環境健全性モデル調査の一般参加調査に、詳細生物調査を水環境健全性モデル調査の詳細調査にそれぞれ位置付けています。

2 開催状況について

(1) イベント調査

五条川において、岩倉市の小学生27名とともに、講師から調査方法の説明を受けた後、水環境健全性モデル調査版の調査票を用いて、生き物の豊かさ、景観、地域活動の観点で流域モニタリング調査及びタモを用いた生物調査を実施しました。

調査後は、講師からの解説を受けながら、捕獲された生物が何であったかなど調査結果のまとめを全員で行いました。

(2) 詳細生物調査

イベント調査を実施した五条川において、生物の専門性を有する調査員（講師）が水環境健全性指標（河川版）を用いた詳細調査を実施する中で、参加者も調査方法の指導を受けながら調査を体験しました。

<参加者からの意見、感想>

- ・水質検査や環境学習について体験でき、水環境に初めて携わる者にとっては、分かりやすく、いい導入研修になった。
- ・専門技術者によるわかりやすい解説を交え、子供達が楽しみながら知識を得られたと感じた。

- ・身近な水環境について、近隣住民が関心や親しみを持ち、現状を知るきっかけとして、また、行政職員が担当地域の状況を知る取組として、このようなイベントを開催することはよいと思った。
- ・自前での啓発イベントの企画を考えるのに参考になった。
- ・大人の目が行き届くなかで子どもは楽しむことが出来きていた。安全管理のため、多人数の大人の配置が必要と感じた。
- ・川の水生生物の上手な採取方法について、専門家の方から学ぶことができた。
- ・環境学習の様子を客観的に見ることができ、パックテストや透視度の測定の際が、子どもたちにとって一番ワクワクしていたように見えたことを、今後の機会に活かしたい。
- ・河川に関わる業務をしているが、生物調査に参加したことがなかった。今回、実際に河川で生物調査を行い、様々な生き物が生息していることが確認できた。
- ・魚巣ブロックがちゃんと機能していることに驚いた。オイカワの稚魚がたくさんいる状況を見ることができたことが驚きだった。
- ・他団体の方のお話を聞くこともでき、とても良い刺激となった。

イベント調査の様子



①くすきの家で集合し、子ども達と五条川へ向かいました。



②五条川の名前の由来についても、説明を受けました。



③講師から説明を受け、水質調査を実施しました。



④タモを用いて生物調査を実施しました。



⑤捕獲できた水生生物を持ち寄り。



⑥捕獲された水生生物について、講師による解説してもらいました。

詳細調査の様子



①イベント調査（簡易調査）との違いなど説明を受けました。



②調査員（講師）による目視、捕獲調査の見学と参加者による体験を実施しました。



③勉強会のため、詳細調査の結果についても解説してもらいました。



<参考>

油ヶ淵（桃の園地先、ハス池）での水環境健全性モデル調査について

2025年10月25日（土）開催の体験型イベント「アクション油ヶ淵 2025」において、油ヶ淵（桃の園地先、ハス池）での水環境健全性モデル調査に位置付け、「見て、さわって、学ぼう！油ヶ淵の環境と生きものの学習会」を開催しました。



調査の様子



①イベント調査（一般参加者 26名）



②詳細調査の様子

調査票

調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名		調査日時	年 月 日 () 午前 時 分 午後			
名前		調査場所	川の幅 m			
		参加人数	人	天気	☀️ · ☁️ · ☔	

水のきれいさ

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ←————→ 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	点	平均点
2.水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	点	
3.水のおい	においを感じない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	点	
4.水に浮いた油や泡	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	点	
5.水の底の感じ	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして 気持ちわるい	点	
6.CODパックテスト [®] 調査 mg/ℓ	2mg/ℓ以下	3mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	8mg/ℓ以下	8mg/ℓをこえる	点	

水の量

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ←————→ 流れがほとんどない						
1.流れのよさ	水面に波がある ような流れがある	中間	水面は波がないがはっきり 流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	点	平均点
2.流れの変化	瀬・淵・ワンドなど 多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	点	
3.わき水のようす ^{※1}	以前と変わらない水量 のわき水(湧水)がある	中間	少ないけど わき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)が なくなった	点	
4.川の深さ cm	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	点	
5.川の流れの速さ cm/秒	60cm/秒以上	40cm/秒 ~60cm/秒	20cm/秒 ~40cm/秒	10cm/秒 ~20cm/秒	10cm/秒未満	点	

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

注) 水の量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。
 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。
 ※1: 湧水が過去に確認されている場合のみ使用。

せいたいけい
生態系

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ←————→ 生物がいる水環境 —————→ 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がいない	点	平均点
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多はえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	点	
3.周辺の植物	木が多はえている	中間	緑がある	中間	緑はない	点	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がある	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの階級)	I	II	III	IV	何もいない	点	

みすべ
水辺のようす

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点	
	5	4	3	2	1			
	快適な水辺(積極的に活用したい水) ←————→ 水辺を活用できる程度 —————→ 不快な水辺							
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころある	中間	ごみが多い	点	平均点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で遊びたい	中間	ながめたりさんぽをしたい	中間	近づきたくない	点		
3.水辺への 近づきやすさ ^{※2}	どこからでも水辺に近づける	中間	水辺に近づけるところがある	中間	近づけない	点		
4.水辺の自然度 ^{※3}	緑が多く自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	点		
5.水辺の景観 ^{けいがん}	全体が調和していてここちがよい	中間	調和していないところもある	中間	まわりの風景とうまく調和していない	点		
ヒ ア リ ン グ 調 査	6.散歩・レジャー ^{さんぽ}	多くの人に毎日のように利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		点
	7.環境学習 ^{かんきょうがくしゅう}	多くの人に利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		点
	8.環境保全活動 ^{かんきょうほぜんかつどう}	多くの人が活動している	中間	ときどき活動している人がいる	中間	活動している人がいない		点
9.透視度 ^{とうしど} cm	80cm以上	60cm～80cm	40cm～60cm	20cm～40cm	20cm以下	点		

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※2、※3: 相反する評価となる可能性がある。

地域とのつながり

調査項目	調査項目ごとの評価					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	つながりが強い ← つながりがある → つながりが弱い						
1.水辺に関する昔の話	たくさん聞いたことがある	中間	聞いたことがある	中間	聞いたことがない	点	平均点
2.水辺への近づきやすさ ※4	どこからでも水辺に近づく	中間	水辺に近づくところがある	中間	近づけない	点	
3.日常的な利用 ※5 <small>にちじょうてき</small>	多くの人に毎日のように利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない	点	
4.産業活動 ※4 <small>さんぎょうかつどう</small>	よく利用されている(漁業や水道など)	中間	少し利用されている	中間	利用されていない	点	
5.環境活動 ※6 <small>かんきょうかつどう</small>	多くの人が盛んに環境に係る活動をしている	中間	時々あるいは一時的に活動をしている	中間	全く活動がない	点	

選択項目数 <small>※特に重要と考える調査項目を選択</small>	選択項目点数 点	備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。
---	--------------------	---------------------------------

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。
 ※4 「水辺のようす」の「3.水辺への近づきやすさ」と同じ設問である
 ※5 「水辺のようす」の「6.散歩・レジャー」を参考にして評点をつけること
 ※6 「水辺のようす」の「7.環境学習」、「8.環境保全活動」を参考にして評点をつけること

調査票に関するお問い合わせはお住まいの市町村環境保全担当課窓口、または協議会事務局まで ©事務局: 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 ☎052-954-6221